# 平成24年12月7日(金) 15:00~17:00 開催

「YNU学術ディスコース」は、様々な分野の第一線で活躍している研究者を講師として招聘し、研究者同士が自由に楽しく語り合うことで、分野・世代・部局を超えた研究者交流の場を提供して、新たな研究の芽の発掘や研究グループの形成を促進することを目的としています。

今回は、以下の内容で開催します。若手研究者や大学院生はとくに奮ってご参加下さい。

## 講演1 教育の情報化に関わる教育実践研究の現状と課題

社会の情報化が急速に進行する中、学校現場における教育へもさまざまな影響が生じている。1つは教える道具としてICTを有効に用いるという授業方法の改善、2つはICTを学ぶ道具として活用する前提とした場合に必要となる情報活用能力の育成、3つは校務など学校のバックヤードに位置付く指導情報のエビデンス共有と組織マネジメントへの影響である。これら教育の情報化に関わる教育実践研究の現状と課題について検討する。



### 【講師】堀田 龍也 氏 玉川大学 教職大学院教授

1986年東京学芸大学教育学部卒業、1995年電気通信大学大学院電気通信学研究科博士前期課程修了、 2009年東京工業大学大学院社会理工学研究科博士後期課程修了、博士(工学)(東京工業大学)。

東京都公立小学校教諭、富山大学教育学部助教授、静岡大学情報学部助教授、東京大学大学院情報学環客員助教授、独立行政法人メディア教育開発センター准教授、文部科学省参与(併任)等を経て、2010年より玉川大学教職大学院教授。

文部科学大臣表彰(情報化促進部門・個人)。

文部科学省「学びのイノベーション推進協議会」委員、「情報活用能力調査に関する協力者会議」委員、同「教育研究開発企画評価会議」協力者等を歴任。

## 講演2 教室のICT環境整備と授業改善

電子黒板、デジタル教科書、タブレットPCなど、教室へのICT機器の導入が盛んである。日本でも2009年の「スクール・ニューディール」構想を機に普通教室のICT環境整備が行われ始めた。しかし、単にICT機器を導入するだけでは、効果は期待できない。英国、韓国、シンガポール等と比較しながら、授業改善に寄与する日本の教室のICT環境整備の在り方について検討する。



#### 【講師】野中 陽一氏 横浜国立大学教育人間科学部教授

1983年横浜国立大学教育学部卒業, 1988年同大学院教育学研究科修士課程修了。

横浜市立小学校教諭、和歌山大学教育学部助教授を経て、2008年より横浜国立大学教育人間科学 部准教授、2012年より同教授。

文部科学省「教育の情報化に関する手引」作成委員、「学校教育の情報化に関する懇談会」委員、 総務省「ICTを利活用した協働教育推進のための研究会」構成員、など。

【コーディネータ】 横浜国立大学 教育人間科学部長・教授 髙木 まさき

#### 講演会

日 時 12月7日(金) 15:00~17:00

会 場 経営学部講義棟1号館(社会科学系総合研究棟Ⅲ) 【N3-5】107教室

定 員 100名程度

(異分野, 若手研究者, 学生の方は特に歓迎します。)

※参加費及び申込みは 不要 (直接会場へお越しください。)

### 懇親会

日 時 12月7日(金) 17:30~

会 場 第2食堂 2階

参加費 2,000円 (学生は500円)

申込み <u>12月4日(火) まで</u>に

研究総務係宛にメール又は電話にてお申込みください。



申し込み・お問合せ 研究推進部 研究推進課 研究総務係